

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第二十一回ディズニー・チャンネル/ディズニーXD放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2013年11月29日(金) 17:30~18:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 6
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
戸田 奈津子
中川 真弥
前田 耕作
山田 顕喜

その他、ディズニ : 編成部門担当者5名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について
 - 2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
 - ・「ブログ犬 スタン」
 - ・「学園 NINJA ランディ」
 - ・「クラッシュとバーンスティーン」

審議の概要

1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD番組編成について
ディズニー・チャンネル及びディズニーXDの番組編成・改編について説明が
され、下記のとおり意見交換が行われた。
(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の
回答)

○ ディズニー・チャンネルでは11月18日より開局10周年の企画として、

「ディズニー・チャンネル 魔法の10週間」と称して、10週間連続の特別編成を組んでいる。人気の映画、ミッキーの新しい短編アニメーションや開局当時に放送していた番組なども見られる。

- また、この10周年企画に合わせて、視聴者にはディズニー・チャンネルとの思い出の写真を募集している。
- それらの写真は、チャンネルの放送中にどこかで出るということか？
- 先週からは出す頻度もだんだん増やしている。こういった企画は、視聴者とのコミュニケーションになる。
- その他、ディズニー・チャンネルは、あまり大きく編成を変えていない。今回ご紹介する『みつばちマーヤ』は、平日の12:00に放送している。
- ディズニー・チャンネルとディズニージュニアは、どちらを見ている人のほうが多いのだろうか？ディズニー・チャンネルのほうが高いと、ジュニアがあるのに勿体無い気もするが。
- ディズニー・チャンネルのほうが視聴世帯数も多く、視聴率は高いが、ディズニージュニアとは上手く差別化をしていきたい。
- ディズニーの自然ものの番組を見たいと思う。『砂漠は生きている』を見て感動したのを覚えている。

- ディズニーXDにおいては、週末は映画を15:00台と21:00台にも放送し、映画を少し増やしている。番組については、フィニアスとファーブとマーベルのヒーローたちが共演する特別エピソードなどを放送して、ディズニー・チャンネルからも視聴を誘導したいところ。
- 例えばスポーツのハウツーものなどはないのか？ ディズニーXDであれば良さそうだが？
- スポーツを教えるというものは今のところないが、サッカーの長友佑都選手が自ら監修した、彼の子供の頃のクスッと笑えるエピソードをアニメーション化した『ゆうとくんがいく』というミニ番組を放送している。

2) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について

ディズニー・チャンネル及びディズニーXD放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ブログ犬 スタン』について：

- 両親が再婚することになって兄妹になったタイラーとエイブリーは、いつ

も喧嘩ばかりしている。二人を仲良くさせようとして、父のベネットは、スタンという犬を飼うことにする。実はこのイヌ、人間と会話することができて、しかも、自分のブログを持っているという犬だった…という内容。

- ベネットとエレンの会話にもある通り、彼らは再婚同士であるがゆえに、1年以上も経っているにも拘わらず、タイラーとエイブリーは中々お互いに馴染まない。そんな中、スタンが家族に加わったことにより、この二人が徐々に家族らしくなっている様子が描かれている。
- 「子がかすがい」というが、これは「犬がかすがい」といった感じで、いいテーマだと思う。
- CGの口や目の動きに違和感がなく、この家庭の中に居て、親しみやすい。技術的にも良い。
- 動物が子供の世界に入っていく可能性が、広がっていると思った。
- 家族構成としては、このシリーズに登場する家庭も再婚同士のようだが？
- 複雑な家庭に犬が入ることによって、上手くいくのだと思う。
- ディズニーの実写ドラマでは、最近の社会の変化も反映されており、シングルペアレントや親が再婚同士の家庭などがよく登場する。
- また、この作品では、主人公の犬スタンがブログをやっていることもあり、インターネットを使うことによる便利さや危険性などについても触れるエピソードもある。
- インターネットを通じて、色々な怖い事件も起きているので、そういった教育は良いもの。
- 対象となる視聴者の年齢層は？
- 小学生高学年から中学生くらいとファミリーを想定している。また、今風の話題も多く取り入れている。

『学園 NINJA ランディ』について：

- ランディ・カニングハムはノリスビル高校に入学したての新生。入学前の夏休みは友達のハワードとゲーム三昧の日々を過ごしていたが、ある日「忍者入門書」と「忍者のマスク」が自宅に届けられて、800年の伝統を持つ忍者の後継者に選ばれる。歴代の忍者には、この地に封印された妖術師からこの地を守ることが課せられていた…という内容。
- ペースが速く、面白い。
- 自分を信じて勝つ、というのは良いストーリー。
- 一般的に、アメリカやイギリスでは、忍者という存在をどうとらえているのだろうか？ 目立たない存在という忍者の本来の姿とはまた少し異なる形で理解されているのかも？
- 忍者が登場する場合、日本でのイメージにある影のような目立たぬ存在と

いうものではなく、表に出して活躍させたい風ではある。

- 作品内には、雰囲気的に東洋の文化が色々と取り入れられているが、背景の画自体、文字、設定自体についても、例えば日本などで文化的に問題がないかどうかは、制作段階で確認しながら進めている。

『クラッシュとバーンスティーン』について：

- ワイアットはバーンスティーン家で唯一の男。その他の家族は母親と三人姉妹と女ばかりの環境の中で、彼はずっと男らしい兄弟を欲しがっていた。誕生日を迎えたワイアットは、誕生日プレゼントを買うために連れて行かれた店で、忍者の剣を持った人形「クラッシュ」を注文する。家に持ち帰ると、クラッシュが箱の中から飛び出して、暴れ始めた…という内容。
- セサミストリートのアーニーと似ている。懐かしい気がする。
- 子供とマペットのサイズが良くかみ合っていて、自然に見える。上手く映っているのがすごい。
- マペットが入ると、人間では出来ないことをやってくれるので、広がりが出てくる。
- 病気になると、マペットの外見も完全に変わるというのも面白い。
- 動きについてはCG等を使っているところもあるかもしれないが、手で動かしている部分をわざと見えるようにしている部分がまたこれも面白い。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので18：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。